

No. 1652

日米新時代形成へ

—— ブッシュ大統領来日 ——

1月7日初来日したブッシュ米国大統領は、8日東京赤坂の迎賓館で行なわれた歓迎行事に国賓として出席しました。玄関前のテラスで両国国歌の演奏に敬礼したあと天皇陛下が皇太子さま、秋篠宮夫妻、官沢総理夫妻を紹介されました。つづいて陸上自衛隊の榮譽礼を受けたあと巡閲。そのあと日本の閣僚や米国のスタッフとにこやかに握手。一般の歓迎陣にも手を上げて応えるブッシュ大統領です。

日米首脳会談は迎賓館の朝日の間などで首脳だけの個別会談、日米主要閣僚が加わった全体会議が行われました。両首脳は「21世紀へ向けたグローバル・パートナーシップ（地球規模の協力関係）」を確認。また「新時代を形成する特別の責任」を認識し、具体的に行うため「東京宣言」と「行動計画」を発表しました。この中にはアメリカからの要求である自動車、同部品、政府調達コンピューターの輸入拡大を日本側が約束、コメ市場の「関税化」にも一歩踏み入れるなど日本政府の重大な政治決断が迫られそうです。

前夜、官沢総理主催の夕食会で風邪で倒れたブッシュ大統領は9日夜の宮中晩餐会に元気な姿で出席。天皇陛下のおことばのあとブッシュ大統領は「私達すべてが新世界秩序のかけ橋となりパートナーとならなければ」とスピーチしました。今回のブッシュ大統領の訪日は、日米間の経済摩擦を解消することが強調されたとはいえ日米が世界のリーダーシップをとるために相互信頼関係を深めていくという目的は達したといえそうです。